

基本目標4

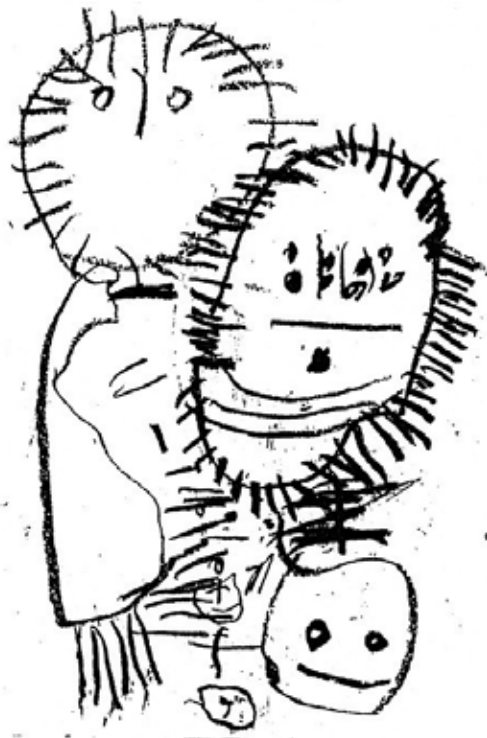
子どもと子育てにやさしいまちづくり

子どもが健やかに成長していくためには、居住環境が整備されるとともに、安心して外出・移動できる都市環境の整備が必要です。“子育てバリアフリー”の観点から利用しやすい道路や公共施設の整備・充実を進めるとともに、子どもを事故や犯罪の被害から守り、安全で安心できるまちを目指します。

主要課題4 - 1 安心して外出できる環境の整備

主要課題4 - 2 安全・安心まちづくりの推進

主要課題4 - 3 良好な居住環境の確保



主要課題4-1

安心して外出できる環境の整備

現状

- ・障害のある人や高齢者だけでなく、子どもとその家族が利用しやすい安全な道路を整備する必要があります。
- ・公共施設や交通機関などのバリアフリー化を促進し、子どもと子育て家族が安心して暮らせるまちづくりを進めています。
- ・自然の遊び場や空き地が減少し、子どもたちが自然とふれあう機会が少なくなっています。公園の整備を進めていますが、子どもたちからはもっと自由に遊べる場所を望む声があがっています。
- ・交通事故の犠牲になる子どもの数は少なくありません。子どもが交通事故に遭うことなく、安心して安全に活動できる環境整備を進めています。

市民の声

- ・通学路だけでも子どもが安全に歩けるよう、幅の広い通学路を設けてほしい。
- ・鎌倉市には自然はあるが、安心して子どもを遊ばせることのできる公園が少ない。
- ・福祉センターの子育て広場は、子どもの遊び場としては不十分である。
- ・市内の公園の遊具が鉄でできているので、安全面で不安である。
- ・子どもたちが伸び伸びと、安全に遊ばせられる広い公園、遊び場を作る。
- ・雨の日にも、安心して子どもを遊ばせることのできる公園を作る。
- ・プラスチック製の遊具にするなど、公園の設備をより安全なものにする。
- ・毎年春に1回行っている小学校の通学路安全点検の結果を見て、早急に反映させてほしい。危険な場所を指摘しているにもかかわらず、全然改善されていない。
- ・駐停車や携帯をしながらの運転等が多く、子どもを歩かせるのが心配。
- ・子どもたちが車などに脅かされることなく遊べる場所が近所にほしい。袋小路を通行止めにして、遊び場を設けてみてはどうか。

施策の方向

- ・子どもとその家族をはじめ、誰もが安全に安心して通行できるよう、交通環境を整備していきます。
- ・子どもと子育て家族が、安心して外出できる生活環境の整備を進めます。
- ・子どもたちが健やかに成長するには、自然の中で安心して遊べる場所があることが大切で、自然や生態系にも配慮した公園、緑地等の子どもの遊び場を整備します。
- ・子どもを交通事故から守るため、警察、保育所、学校、児童館、関係民間団体等と連携し、総合的な交通事故防止対策を推進します。

計画事業

歩道の整備（P87-4-1-1） 生活道路の整備促進（P87-4-1-2）
交通環境の検討（P87-4-1-3） 庁内のバリアフリー化の推進（P87-4-1-4）
公園・緑地の整備促進（P87-4-1-5） 都市緑地の整備（P87-4-1-6）
街区公園等の設置（P87-4-1-7） 駅施設の整備（P87-4-1-8）
交通安全教室の充実（P88-4-1-9） 子どもの交通安全対策（P88-4-1-10）

主要課題 4 - 2

安全・安心まちづくりの推進

現状

- ・子どもが犯罪等に巻き込まれるケースが多発しています。子どもを犯罪等から守るため、安全・安心なまちづくりが求められています。

市民の声

- ・地域全体で、不審者の侵入などがあちこちであり、一人で留守番もさせられない。怖い事件が数多くある。防犯対策をしてほしい。
- ・安全対策、交番、警察官の増設。地域防犯の啓発を行政主導で行う。防犯灯を増やす。防犯ベルの児童・生徒への無償配布を行う必要がある。
- ・地域で、昼間など人が全く歩いておらず、防犯面で不安がある。
- ・地域の人々のコミュニケーションを、よくすることが、防犯にもつながる。
- ・小学校で、学校への外部からの不審な侵入者をどう防ぐかが課題となっている。
- ・保護者が学校に入る際、証明カードを持つ方法などが出ているが、子どもの立場になった対策を考える。

施策の方向

- ・子どもが犯罪等の被害に遭わないよう、防犯灯の設置など生活環境の整備を進めます。
- ・子ども自身の防犯意識を高め、対処法を身に付けるとともに、地域の人々の協力ののもとに、地域全体で子どもの安全の確保に取り組みます。
- ・子どもを犯罪等の被害から守るため、関係機関・団体との連携を図り情報の収集・提供に努めます。

計画事業

- 防犯灯管理費補助金の交付（P89-4-2-1）
- 防犯対策の充実（新規）（P89-4-2-2）
- 自主防犯パトロール活動の推進（P89-4-2-3）
- 学校と警察の連携の強化（P89-4-2-4）
- 児童安全指導（CAP）の開催（P89-4-2-5）
- 防犯教室の開催（P89-4-2-6）
- 関係機関、団体との協議会設立（新規）（P89-4-2-7）
- 防犯体制の充実（新規）（P89-4-2-8）
- 防犯に関する普及啓発活動の実施（新規）（P89-4-2-9）
- 事件・事故等緊急対応のポイントの作成・配布（P89-4-2-10）
- 保護者と地域の連携による防犯活動の推進（新規）（P89-4-2-11）
- 防犯ブザーの配布（新規）（P89-4-2-12）

主要課題 4 - 3

良好な居住環境の確保

現
状

- ・子育てを担う若い世代を中心に、広くゆとりある住宅を確保することができるよう支援することが求められています。

市
民
の
声

- ・若い人が多く子どもを持てるような、広い住宅の提供などの援助をしてほしい。
- ・子どものいる世帯にふさわしい住宅を安価で提供する。住宅費・教育費にお金がかかり過ぎる仕組みを変えないと、子育て世代の負担感が高すぎる。

施
策
の
方
向

- ・ファミリー層定住促進のための住宅施策について、調査・研究に努めます。

計
画
事
業

- 住宅施策の推進（P90-4-3-1）
- まちづくり活動の支援（P90-4-3-2）
- 公営住宅の整備促進（P90-4-3-3）
- 住環境の整備（P90-4-3-4）